

4. 自治会行事を考える会：11月27日19時～20時30分

(1) 佐々木からこの会に期待することの説明があった。

- 会則にある自治会の目的に照らし、行事の内容を再検討する。
- 行事の一部請負からはじめ、請負仲間の増員により、請負部分を拡大する。そして班長の行事遂行時の負担を軽減することに貢献する。

(2) 参加者で自由な意見交換

- 班長業務の軽減を目指しているようだが、現班長業務をこなすのが困難な世帯については班で話し合い、対応することになっている。ここで話し合う事項だろうか。
- 各部行事内容の検討より、各部の部長選択方法がもっと大きな問題だと感じている。
行事に参加できない人が抽選で部長になる、そんなシステムこそ止めなければいけない。
- 組織が大きすぎて何をやっても住民の参画意識が生まれず、常にお客様になっている。
自治会の基本は班なので班単位の行事を考え、班員の交流を図ることから始めてはどうか。
- 順番で回る役員だが、残れる人には残ってもらうのが良い。ただ、残る人にも不平不満があることを忘れてはいけない。
- 自治会が大きいかからまとまらないのは当然。
しかし、それだけではない。現自治会のハラスメント体質に問題がある。
異質の意見を力で排除してしまう。結果、違う意見を持つ人は発言しなくなり、退出する。
- 自治会の行事が丸ごと組の間を回っていく形（今年度の納涼祭は1組、運動会は2組---）にすれば、小規模自治会と同じように、班や組のコミュニケーションが取れて、まとまるのではないか。
- 請負を増やして一部班長のする事が無くなればそれはそれで不平不満を生むのではないか。
少しくらい無理があってもやってもらわなければ。
失敗してもいい。失敗を責める体質が良くない。
- 行事はスリム化を目指せ。
- 年度終わりに班長体験談を集めるのは参考にならないか。
- 二丁目住民に行事一覧を示し、なくてもいい行事、継続を希望する行事を問い直してみたらどうか。